

●電子地形図25000図式との比較：赤字は令和3年12月公開試作図からさらに変更した点

項目	電子地形図50000	(参考) 電子地形図25000	(参考) 5万分1地形図(紙地図)
三角点	一等～三等三角点を表示する。	一等～四等三角点を表示する。	一等～三等三角点を表示する。
標高点	地域の景況を表示するために必要なものを表示する。	特別標高点(現地測量による)と標高点(写真測量による)を表示する。	基準点のうち水準点・三角点(一等～三等)を除いたものを表示する。また、主要な山頂・あん部・谷底・凹地の底・丘の頂、道路の主要な分岐点、眺望の良好な地点を選定して表示する。
水深	非表示。	湖沼測量による水深を表示する。	自然湖のうち、基本測量による湖沼図が作成されたものに表示する。最深部、主な湖底等で必要な箇所に表示する。
〈記号道路〉 3m～5.5m(1車線)	3m～5.5m(1車線)の道路(庭園路も含む)のうち、一般道(高速道路・国道・県道・有料道路を除く道路)の表現を、3m未満(軽車道)と同じ一条表現とし、軽車道と区別するため幅を太く表示する。(試作図【編集版2】を採用)	3m～5.5m(1車線)の道路は、全て表示し、二条道路の表現とする。	3m～5.5m(1車線)以下の道路は、必要な箇所のみ表示し、重要度が低い道路は省略する。(集落相互を結ぶ主要な道路、幹線道路への連絡道、地域の景況を表すもの、等は優先して表示する)
分離帯	非表示。	表示する。(幅員13.0m未満の道路では省略可)	幅員13.0m以上の道路で表示する。(ロータリー一部等線を規模に応じて表示を調整)
道路橋	通常部と同じ表現とする。(橋梁記号は非表示)	橋梁記号は表示する。(長さ500m以上は半円記号も表示)	橋梁記号は表示する。(長さ500m以上は半円記号も表示)小さなものは最小記号の大きさまで誇張して表現する。複数の橋が接近する等、表示が困難な場合は橋記号の一部を適宜省略する。
トンネル(道路)	トンネル区間は、記号内部を道路種別ごとの色で塗りつぶす(透過あり)。また、中心線を灰色の点線で表示する。坑口記号は非表示とする。	トンネル区間は、道路縁部を破線(内部は着色なし)坑口記号は表示する。	連続して多数存在する場合は、適宜省略可。短小なトンネル区間は、坑口のみ表示し経路は描画しない。
駅 (JR線、JR線以外、特殊鉄道、索道)	黒塗りつぶし。また、幅を拡大して表示する。	白塗りつぶし。	白塗りつぶし。
新幹線(トンネルも含む)	藍色で表示する。(電子地形図20万の新幹線の表現と同様)	普通鉄道(JR)と区別せず同じ表現。	普通鉄道(JR)と区別せず同じ表現。
鉄道橋(高架部)	通常部と同じ表現とする。(橋梁記号は非表示)	橋梁記号は表示する。(長さ500m以上は半円記号も表示)	橋梁記号は表示する。(長さ500m以上は半円記号も表示)小さなものは最小記号の大きさまで誇張して表現する。複数の橋が接近する等、表示が困難な場合は橋記号の一部を適宜省略する。
普通建物 堅ろう建物 高層建物	普通建物は1つ1つ区別して表示する。(試作図【編集版1】を採用)また、各ポリゴンの枠線は非表示とする。 堅ろう建物と高層建物については、赤色で表示する。	建物の規模と構造に応じて、普通建物、堅ろう建物、高層建物及び無壁舎に区分して描画する。	・建物の規模に応じて、独立建物(小)(大)(中高層建物)に区分して描画する。独立建物(小)が集合している場合は、景況に応じて適切に配置する。 ・建物が密集している場合は、総描建物(小)(大)(中高層建築街)として、総描で表現する。
坑口(洞口)	非表示。	人工の鉱坑、道路、鉄道、水路等が地下に出入りする部分及び自然に形成された穴の入口(幅10m以上)に適用する。 多数の坑口が存在する場合には、主要なもののみを表示する。	人工の鉱坑、道路、鉄道、水路等が地下に出入りする部分及び自然に形成された穴の入口のうち、好目標となるもの、用図上必要なものを表示する。 (幅の規定はないが、幅40m未満のもので取得する場合は最小記号に拡大して表示) 多数の坑口が存在する場合には、主要なもののみを表示する。
採鉱地	非表示。(鉱物の注記も非表示)	記号に添えて鉱種名を注記する。(鉱種名は主要なもの1種) 廃坑でも、著名又は目標となるものは取得する。	記号に添えて鉱種名を注記する。 廃坑でも、著名又は目標となるものは取得する。
史跡・名勝・天然記念物	非表示。(注記は表示する場合あり)	文化財保護法(昭和25年法律第214号)に基づき指定された史跡、名勝又は天然記念物を指定区域中央又は対象物の位置に表示する。対象物を示す他の記号がある場合には、史跡・名勝・天然記念物記号を転位し表示する。	文化財保護法に基づく史跡、名勝又は天然記念物を表示する。指定区域中央又は対象物の位置、もしくは景況に応じて表示する。 天然記念物で、その名称を表示することが困難な場合は記号及び注記を省略することができる。

等高線	<ul style="list-style-type: none"> <li>主曲線は20mごとに、計曲線は100mごとに表示する。</li> <li>補助曲線はすべて表示しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主曲線は10mごとに、計曲線は50mごとに表示する。</li> <li>補助曲線は主曲線だけでは、その特徴を表現することが不十分な部分に適用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主曲線は20mごとに、計曲線は100mごとに表示する。</li> <li>補助曲線については、主曲線だけではその特徴を表現することが不十分な部分に、「補助曲線（第一次）」と「補助曲線（第二次）」として適用する。「補助曲線（第二次）」は「補助曲線（第一次）」によってもなお、地形の特徴を表現できない部分に適用する。</li> </ul>
等高線（崖裏）	非表示。（試作図【編集版1】を採用）	非表示。	非表示。
土崖／岩崖	高さがおおむね5.0m以上、長さがおおむね図上1cm以上のものを表示し、それより小規模のものは必要に応じて表示する。 <u>薄い灰色とし線幅を細く目立たないようにし、表示する。</u>	高さがおおむね5.0m以上、長さがおおむね500m以上のものを表示し、それより小規模のものは必要に応じて表示する。	高さがおおむね3.0m以上、長さがおおむね125m以上のものを表示する。基準に満たないものであっても、地域の景況を表すために必要な場合は表示することができる。
雨裂	長さがおおむね図上0.5mm以上のものを表示する。 <u>薄い灰色とし線幅を細く目立たないようにし、表示する。</u>	長さがおおむね図上1.0mm以上のものを表示する。	
岩	大きさが図上0.15mm×0.15mm以上のものを表示する。 図上0.75mm×0.75mm以上のものを「大」、それ未満のものを「小」として表示する。 <u>薄い灰色とし線幅を細く目立たないようにし、表示する。</u>	大きさが図上0.3mm×0.3mm以上のものを表示する。 図上1.5mm×1.5mm以上のものを「大」、それ未満のものを「小」として表示する。	大きさが図上1.0mm×1.0mm以上、又は長さ図上5.0mm以上のものは岩（大）で表示する。また、散在する岩石で図上1.0mm×1.0mm未満、0.3mm×0.3mm以上のものは岩（小）で表示する。
<凹地>（陸部） 凹地（大）の内側の突起部 凹地（小）の矢印	非表示。	<ul style="list-style-type: none"> <li>凹地（大）は、等高線のくぼ地の方向に短線を表示する。</li> <li>凹地（小）は短径が75m未満の凹地の場合に、高い方から低い方に向かって、矢印を表示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>凹地（大）は、等高線のくぼ地の方向に短線を表示する。</li> <li>凹地（小）は短径が150m未満の凹地の場合に、高い方から低い方に向かって、矢印を表示する。</li> </ul> 火山の火口部で一見して凹地と読図できる場合は、省略する。
等深線	<ul style="list-style-type: none"> <li>主曲線は20mごとに、計曲線は100mごとに表示する。</li> <li>補助曲線はすべて表示しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主曲線は10mごとに、計曲線は50mごとに表示する。</li> <li>補助曲線は主曲線だけでは、その特徴を表現することが不十分な部分に適用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>湖沼調査を行った湖沼図に基づき、主曲線は20mごとに、計曲線は100mごとに表示する。</li> <li>補助曲線は主曲線だけでは、その特徴を表現することが不十分な部分に、「補助曲線（第一次）」と「補助曲線（第二次）」として適用する。「補助曲線（第二次）」は「補助曲線（第一次）」によってもなお、地形の特徴を表現できない部分に適用する。</li> </ul>
<凹地>（水部） 凹地	非表示。	湖底の局部的に窪んでいる地形の傾斜方向を高い方から最深部の方向に矢印を表示する。凹地（小）の記号のみ存在（凹地（大）の記号はなし）	湖沼図に表示されたもので用図上、必要なものを表示する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>凹地（大）は、等深線のくぼ地の方向に短線を表示する。</li> <li>凹地（小）は短径が150m未満の凹地の場合に、高い方から低い方に向かって、矢印を表示する。</li> </ul>
行政界 所属界	強調して表示する。（線の色をむらさき色の透過色とし、線の太さを太くする）	線の色は灰色。	線の色は黒色。
植生記号・砂礫地（点）	すべて表示し、 <u>周囲の地物の表現を邪魔しないよう記号の色を薄く表現する。</u>	縮尺に合わせた適切な間隔・密度で取得。	縮尺に合わせた適切な間隔・密度で取得。
注記表現の変更	山地の名称は緑色の傾斜体、水部（河川・湖沼）の名称は青色の傾斜体とする。	山地の名称、水部（河川・湖沼）の名称ともに、黒色の傾斜体とする。	山地の名称は黒色のしょう肩体、水部（河川・湖沼）の名称は黒色の左傾斜体で表現する。